

円熟人生への三十章句

く未踏の九〇年を上手にすくすく

筆名 堀 亜起良

元『知恵蔵』編集長 堀内正範 著

はじめに

「九割中流」が二〇年で「下流老人」へ

*責任は歴代政府の担当大臣にある

一章 「非を飾る」若者たち

「好事は門を出ず、悪事は千里を行く」世相

*強くなった悪事菌が好事菌を食らう

「不幸な体験だっしてみたい」若者たち

*「もう時代に関わらない」という高齢者

若年化女性化IT化が優先する

*だからスマホ娘はTオンチの親父を蔑視

二章 かあさんは許さない

かあさんは許さない *「亜流歴史ドラマ」再演のプロローグ

「良妻賢母」に育てられ

*大正生まれの母たちがたどった人生

「大正生まれ」の歌

*働きずめに働いた男たちの本音

三章 中堅社員のシニア批判

いまだき高齢者が貯蓄増とは何ごとだ * 現役層のにぶい賃金上昇の傍らで
世代間に深まり広がる亀裂 * 移譲できない高齢者の資産
かつては功いまでは罪の「急流勇退」 * 「いさぎよい引退」で知識・技術は持ち腐れ

四章 「貯蓄ゼロの日」へのカウントダウン

「隠退ウーピーズ」(豊かな高齢者)として * 「一陽来福」型の高齢者層
「ほどほどの赤字人生」が男の美学 * 「先憂後楽」型の高齢者層
「貯蓄ゼロの日」へのカウントダウン * 「戦々兢兢」型の高齢者層

五章 「引退余生」でいか「現役長生」がいいか

「加齢」が価値を生む高齢化社会 * 未達成は「高齢化対策」の延滞による
「高齢社会対策大綱」を一年ぶり改定 * だが実行力ある政治リーダーが不在
「人生六五年」から「人生九〇年」へ * 「現役長生」の高齢世代がつくる社会

六章 人生の円熟期に「丈人力」を活かす

「丈人力」つてなに? * 人生の「自己目標」を実現する潜在力
「がんばらない」と「がんばる」と * 交々に用いる「老人力」と「丈人力」
歴史をつくる劇的な実感 * 「昭和丈人層」の暮らしの実績が歴史に

七章 長寿を愛しむ三つの流儀

長寿時代の「G型」ライフサイクル * 端麗に「加齢」を表象する高齢者に敬意
高齢期は前期成熟＋後期円熟期 * 「高年後期」からのフレイルには要注意
「賀寿期五歳層」のハステージ * 同年配の仲間と「賀寿期」を愉快にすごす
「体・志・行」ケア三元カテゴリー * 家庭内の「雑事」が健康長寿のもと

八章 「MY:」がないマイホームで

マイホームパパとママの憂鬱 * アノ人とかヒカラビてる人といわれて
「ヒツペガシ娘」 vs 「ツカエナイ親父」 * 総理まで女性と若者に肩入れする
家庭内ホームレスの予感 * どうする家庭内で孤り暮らしするパパ

九章 マドギワに居場所を据える

「しあわせ家族」は外にある * CMがこぼ巧みにそそのかす
マドギワに「MY・チェア」を据える * 即座の効用は不在の時の存在感
わたしのモノ同士のモノ語り * 専用品をつなぐ暮らしの動線
一日の課題を「八方時刻」に振り分ける * 三時間ごとに一課題を成し遂げる

一〇章 由に浮いたままの「暮らしの知恵」

「エンプティネスト家族」の孫育て * 近居・隣居より同居が本来型
「実家依存症」といわれても * M字型でなく真一文字型の就労を求める女性
「三同同（三世代同等同居）型」住宅が魅力 * メーカーは高齢化対応で配慮くらべ
「暮らしの知恵」を次世代に伝える * 「うちのジージがね」と自慢するジュニア

一章 「MADE IN JAPAN」のゆくえ

「サンパク以後（三八九一五）」は片下がり * 経済より深刻な民力のデフレーション
九割中流という近似「大同社会」を達成 * 社会主義的平等主義的自由経済の国
「MADE IN JAPAN」のゆくえ * 丈夫で長持ちする優良中級品が国際評価
伝家の宝刀は社員・社友の「和の来歴」 * 日本型マネジメントによる新企業樹形

二章 途上国産の日用品に囲まれて

アジア開化で「途上国産品」がニッポン乱入 * 「アジアの共生(モノの豊かさ)を実感
家庭には「百均グッズ」・職場には「非正規社員」 * 途上国の日本化と日本の途上国化
途上国産品が安価・粗悪から脱するとき * 「足踏み」していた国内の熟練技術者が動く

三章 頼れる国産・地産品が再登場

やや高だが優良国産・地産品が再登場 * 生産現場より流通から対応がはじまる
「エイジノミクス」が経済を支援 * 国民の「成熟+円熟」力がGDPを拡大する
アメリカ型「成果主義」の成果は限定的 * 「新終身雇用」と「新年功序列」で勝ち組に
禍中からサバイバルする日本型企业 * 「一品三種」の新ブランド製品が契機に

四章 和風回帰のキイは「季節感」の共有

「二五年〓百季」との豊穡な出会い * 一年と四季の「双暦」を折節の基準に
「四季カレンダー」と「床の間春秋」 * 屋内に四季を取り込むしかけ

祭事・歳事・催事を心待ちする *季節の兆しを捉える「季語」は文化資産

一五章 春秋まわり舞台で衣食住を演出

モダン変容する「地域和装」 *地域の季節に融和する和装で街をゆく
「ローカル街着」の国際性 *反パリコレの和装ファッション

「自作旬菜料理」で朋友をもてなす *「厨在丈人」必携の出刃一丁
四季がかがよう家居 *地域和風住宅と四季通風住宅

一六章 まちの中心街は「三代四季の情報源」

変幻自在な商品流通のターミナル *夜はコンビニの明かりが頼り
商店街は「モノと暮らしの情報源」 *「地域の顔」も店じまいしたシャッター街で
カラオケは「口楽文化人」のたまり場 *「歌う駄弁る食べる」(うるる)カラオケ三楽

一七章 「歩行生活圏」に日々通う

「歩行生活圏」と「車行生活圏」 *歩行圏の中心街に集う高齢者と子ども
「三代四季型中心街」でひととき憩う *日課として「買い物＋遊歩」に訪れて
「二五年＝百季」のわが庭を公開 *「地域の季節」をみんな楽しんでむ

一八章 「エイジング・イン・プレイス」で暮らす

夜空に舞うホタルの光は *なつかしいものを想い出させる
「現風景」に重ねる「ふるさと原風景」 *Uターンする人びとの願い

「ニシキ族」より「キキョウ族」 *子や孫と暮らせる「ふるさと創生住宅」
横並びの均衡、横比べの特性 *「均衡ある国土」の上に「特性ある地域」を

一九章 高齢社会活動の先行事例

持続可能な都市をつくる *内閣府の「未来都市構想」

新しい高齢社会のデザイン *R・S・T・E・X「高齢社会領域15プロジェクト」

未来のあるべき社会像 *プラチナ構想ネットワーク「プラチナ大賞」事例

二〇章 「新・地域ブランド品」で全国制覇

「地域特性」が息づくまちづくり *みんなでつくる「新・地域特産品」

全国制覇「地域ブランド品」を競い合う *農業の「六次産業化」と「当地グルメ」

三世代の意欲的企画の合流点 *「三世代ふれあい館」なんていいね

二一章 わがまち独自の「地域助け合い」

「地域協議体」が地域活動の中心拠点に *自治体ごとに「生活支援コーディネーター」

「(仮)地域住民シニア会議」がイニシアティブ *近隣市町村との較差を表現する

助け合い推進の力量が持続可能性を証明 *新時代の地域社会を実現する

二二章 朋友十生きがい十まちづくり

明治・昭和「大合併」では人材を養成 *「村立尋常小学校」と「町立新制中学校」

市立(公立)「高年大学校」を新設するとき *地域が求める高齢人材を養成

生涯の友と生きがいカリキュラムを学ぶ *まちづくりに知識・技術を活かす
子は昼に親は夜に同学の談論風発 *地方大学は施設・教師の「多重活用」で生き残り

二三章 「人生の達人」としての八面玲瓏

パソコンで「八面玲瓏」と書こうとしたら *「れいろつ」でなんと「冷老」と出た
意識はなお未熟か半熟のまま *自己実現があやうい「人生九〇年」のステージ
高齢者はすべて「社会の被扶養者」である *みんなで渡った「霞が関の赤信号」
ライトを浴びる「平和団塊」の生活力 *「余生」より「長生」型人生の主役として

二四章 ひとりの住民・市民として

熟成期をすぎず「地域シニア文化圏」 *何十万という水玉模様が存在のかたち
涌出期にある高齢者の社会参加活動 *各界でリードする「昭和丈人層」の人たち
シルバー&シニア&エージング *多種多様なカタカナ名の活動団体

二五章 ひとりの国民として

ああいう国になりたいという国の姿 *さまざまな立場の高齢社会構想
「日本高齢社会グランドデザイン」を掲げる *各界リーダーの構想力を総動員して
「高齢社会対策基本法」制定二〇年の総括 *内閣府に対策担当の専任大臣を置く

二六章 ちょっとばかり国際人として

国民性としての「ホスピタリティー」 *自然にあふれ出る「おもてなし」の心

外国人リピーターを増やす四季型接客法 *六一位の小国を四倍に見せるアイデア
「1999 国際高齢者年」からのメッセージ *国連の「高齢者のための五原則」が指針

二七章 不戦不爭の灯かりを伝えて

「戴白の老も干戈をみず」という七〇年 *戦禍を胸に収めつづけた平和の日々
芯柱に「善く戦う者は怒らず」を立てる *長寿の祭典「高齢化世界会議」を招致
不戦不爭の灯かりを伝えて *「平和憲法」施行一〇〇年を国際的に祝う

二八章 そして「寿終正寝」(天寿)を全うする

世界トップで「長寿社会」の達成を証明 *すべての国民が等しく力を発揮して
八面玲瓏の「高齢期人生」を体現 *「老中八策」の「つひとつを指針として」
「寿終正寝」(天寿)を全うする *自己実現をし尊厳をもって円熟エンディング

おわりに

二〇〇〇年の歴史地理を遡行して *中原の洛邑で得たふたつの目標

止